

活動終了報告書（詳細）

採択年度	2020 年度
コード番号	20-S-010

団 体 名	認定特定非営利活動法人カレーズの会	申請額
		1,000,000 円
		助成額(受領額)
		1,000,000 円
事 業 名	COVID-19 緊急助成プログラム	事業地(国名)
	カンダハール市第 5 地区でのボランティア地域保健員 (CHW) による COVID-19 対策	アフガニスタン・ イسلام共和国

組 織 及 び 事 業 概 要

■ 組織概要（創立年、趣旨、主な活動等）

<組織>

創立年 2002 年 4 月 NGOカレーズの会 （本部：静岡県静岡市）
 法人設立年 2013 年 10 月 特定非営利活動法人カレーズの会
 認定取得年 2017 年 10 月、団体名変更 認定特定非営利活動法人カレーズの会

<設立目的>

アフガニスタンへの復興支援を、医療と教育面で行い、お互いの顔が見える考え方を基本とした支援活動を行う。

<設立経緯と主な活動>

2001 年 9 月のアメリカ同時多発テロに端を発した 2002 年 10 月からのアフガニスタン戦争で、多くのアフガニスタン民間人にも犠牲者が出ました。静岡県島田市に在住する医師レシャード・カレド（アフガニスタン出身）が個人的に取り組んでいた難民キャンプ等での救援活動を、NGOを立ち上げることで組織的なアフガニスタン復興支援に繋がりたいとする多くの静岡県民の志を得て、NGOカレーズの会が 2002 年 4 月静岡市で発足しました。

カレーズの会は、創立当初よりアフガニスタン・イسلام共和国南部のカンダハール市で「医療と教育」を柱としたアフガニスタン復興支援に取り組んでいます。2002 年 6 月にはアフガニスタン国内でNGO登録と診療所開設許可を当時のアフガニスタン暫定政権より取得し、同年 7 月より医療活動をスタートさせました。当初はカンダハール市内中心部で診療をしていましたが、そこが手狭になったことから、2007 年に在アフガニスタン大使館の「草の根無償資金協力」の助成を受け、診療所建設に取り掛かりました。2008 年 4 月に同市アイノ・メーナ地区に現在の診療所建物が完成したことで医療活動は大きく成長し、今では年間 3 万人を超える患者が受診し、2021 年 3 月には発足以来の累計患者数が 66 万人を突破しました。

医療活動の中心は無償の診療や投薬、幼児や出産適齢期の女性向けの予防接種、夜間を含む 24 時間の出産介助、放射線技師や臨床検査技師による各種検査など多岐にわたります。また、診療所内では看護師を中心に公衆衛生教育や栄養教育にも取り組んでいます。2015 年 8 月には助産師達の提案で「夜間の出産」がスタートしました。今では女医 1 名と助産師 3 名が交代で夜勤に従事し、出産介助サービスを通年に亘り提供しています。また、2009 年には、第 5 地区内にヘルスポストと呼ぶ地域医療拠点を開設。これは、診療所を一人で受診できない地域の女性がボランティアの地域保健員（CHW）に気軽に健康相談ができる仕組みになっており、簡単な傷の手当や薬の提供をしています。2021 年現在、ヘルスポストは第 5 地区内 14 か所に拡

活動終了報告書（詳細）

大しており、地域住民が推薦した男女1名ずつ、計24名が診療所で地域保健員の研修を受けたのち、住民への健康相談、家庭訪問、公衆衛生教育等に携わっています。カレーズの会は、地域医療スーパーバイザー1名を任命し、ヘルスポストを監督・支援すると共に、医師や予防接種員をヘルスポストへ派遣し幼児向け予防接種などを行っています。

教育分野では、これも在アフガニスタン日本大使館の「草の根無償資金協力」の助成を受け、カンダハール市ハジ・アズィズ地区に学校校舎を建設し、2009年8月にカンダハール市行政に引き渡しました。同校は公立のハジ・ニカ校として小学生から高校生までの約1,600人（内、女子生徒約600人）が学んでいます。当初は500人程度が通学すると予想していたため、現在は教室が不足し校庭にテントを設置して3交代で授業を行っています。校舎完成以後もカレーズの会はトイレ建設等の支援を同校に対し続けています。

■ 活動の概要（内容、方法、経過）

<内容と方法>

アフガニスタンのCOVID-19は、2020年2月に西部ヘラート州で最初の陽性者が確認され全土に蔓延しました（2021年8月26日現在152,722人）。2020年3月半ばから全国の学校が休校となると同時に、アフガン全国各地で都市封鎖の措置がとられました。一方、カレーズの会は医療サービスを停止することなく、感染対策を強化しながらも引き続き患者を受け入れる必要があり、集団感染のリスクを軽減する為に診療所スタッフは交代制で勤務に従事していました。2020年6月に「COVID-19緊急支援プログラム」の助成金を受け取ることで、診療所での感染症対策を大きく飛躍させることができました。

【ハード面の感染症対策】

カレーズの会診療所では、日本の本部事務局から提供される日本の感染症対策情報（消毒や手洗い、マスク着用、三密回避）をいち早く取り入れ、医師と患者が離れて診察する等の措置は始めていましたが助成金を活用し、まず次の様なハード面の対策に着手しました。

- 手洗い装置を設置し受診患者の手洗い・消毒を徹底
- 診療所内の消毒、スタッフのマスク着用を強化
- 診療所の中庭に大型屋根を設置し、屋外での待合いや診療を実施
- 14か所のヘルスポストへの支援を拡大し、従来の医薬品に加え衛生用品を提供

【ソフト面の感染症対策】

未知とのウイルスに対処するためには、アフガニスタン政府や本部事務局が提供する情報を適切に活用する必要がありましたし、それを如何に地域住民に啓発するかが求められました。幸いなことに、カレーズの会では以前より診療所では看護師が、ヘルスポストではボランティアの地域保健員（CHW）が受診患者や地域住民へ公衆衛生教育を行っていたので、それを活用し次のようなソフト面での活動を拡大しました。

- 地域医療スーパーバイザーがヘルスポストを巡回し感染対策の基本や政府情報を指導
- 地域保健員が地域住民に対し公衆衛生教育の枠組みでの啓発を実施
- 診療所スタッフ及び地域保健員に対し研修会も4回実施

この様に、本事業では装備や物品提供等のハード面と指導や研修などのソフト面の双方を併用した感染症対策に取り組むことができました。

活動終了報告書（詳細）

<実施経過>

	ヘルスポスト支援	設備・装備	公衆衛生教育	研修会
2020年7月	■	■ 消毒・手洗い装備		
2020年8月	■	■ 大型屋根建設	■	
2020年9月	■		■	
2020年10月	■		■	
2020年11月	■		■	■
2020年12月	■		■	
2021年1月	■		■	
2021年2月	■		■	■
2021年3月	■		■	
2021年4月	■		■	
2021年5月	■		■	
2021年6月	■		■	

■ 活動の成果

<Output>

事業実施により、次のような成果（Outputs）が得られました。

- 消毒や手洗い設備を設置（2020年7月）
- 中庭への大型屋根を設置（2020年8月）
- マスクや石鹸、消毒液（イスラム教のためアルコールは使用せず砂糖を利用した現地特有のもの）等の対策用品をヘルスポストに提供（2020年7月～2021年6月）
- 地域保健員に対し新型コロナウイルス感染症の特徴や感染対策、感染が疑われる場合の対応について指導（2020年7月～2021年6月）
- 診療所スタッフや地域保健員を集めての研修会を4回（2020年11月～21年2月）開催

<Outcomes>

上記の成果（Outputs）の結果、次の様な効果（Outcomes）が見て取れました。

- カレーズの会診療所での感染予防

診療所スタッフが一丸となり感染予防に努めました。第一波、第二波はほとんど診療所スタッフへの感染はありませんでしたが、従来型より強い感染力を持つデルタ型が2021年4月以降に蔓延したすと、毎日80人近くを診察する医師等医療スタッフから感染者が出てしまいました。しかし、それも迅速な感染対策強化で集団感染は6月上旬で収束、それ以降新たな感染者は出ていません。

- 第一波（2020年4月～7月） 1人
- 第二波（2020年11月～2021年1月） 0人
- 第三波（2021年4月～2021年7月） デルタ株 8人

- ボランティア地域保健員（CHW）への感染予防

流行が始まった2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症に感染した地域保健員はいません。指導した感染対策が功を奏したと思われます。

- 公衆衛生教育の受益者数（2020年8月～2021年6月）

- 診療所 27,982人
- ヘルスポスト 42,033人

看護師や地域保健員が行う公衆衛生教育を通じて、多くの地域住民に対し「家庭でできる感染対策」について啓発活動を実施しました。

活動終了報告書（詳細）

＜カンダハール市民への COVID-19 感染症対策への貢献＞

カレーズの会診療所の新型コロナウイルス感染症対策が評価され、2020 年 10 月以降は次の様な取り組みがカンダハール州保健局と連携して行われるようになりました。

● PCR 検査への協力

新設されたカンダハール新型コロナウイルス感染症治療センターと協力し、カレーズの会診療所では毎日新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者の PCR 検査を実施しています。診療所で採取された検体は同センターで PCR 検査が行われ、結果は患者に直接携帯電話で伝えられます。

2020 年 10 月～12 月 検査数 159 件、陽性者数 34 人 陽性率 21.38%

2021 年 1 月～3 月 検査数 168 件、陽性者数 43 人、 陽性率 25.60%

2021 年 4 月～6 月 検査数 675 件、陽性者数 145 人、 陽性率 21.48

● 新型コロナウイルスワクチン接種

アフガニスタンでは、公平に新型コロナウイルスワクチンを分配する国際的な取り組み COVAX ファシリティーズの支援を受け 2021 年 3 月よりワクチン接種が始まりました。カレーズの会診療所は、カンダハール州政府よりコロナワクチン接種を行う同市最初の診療所に指定されました。現在は、更に 3 か所が同様の指定を受け、カンダハール市内 4 つの診療所でワクチン接種が行われています。

■ 今後の課題

人々と新型コロナウイルス感染症の戦いは収束していません。変異しながら感染力や毒性を強めています。更には、アフガニスタンの政治体制を覆すタリバンによる武力制圧が 2021 年 8 月に発生しています。新政府は平和構築、治安維持、人権問題などのアフガニスタン社会が抱える課題と共に、脆弱な医療体制を強化しつつ新型コロナウイルスを始めとする様々な感染症と向き合う必要があります。人々の命を守る人道支援や医療支援はどの様な政治体制になっても続けていかねばならないと考えています。

以上

採択年度： 2020 年度 コード番号： 20-S-010

団体名： 認定特定非営利活動法人カレーズの会

事業名： カンダハール市第5地区でのボランティア地域保健員（CHW）による COVID-19 対策



手洗い



消毒



大型屋根



屋根の下の診療



研修会



公衆衛生教育